

令和7年度 小金井市立小金井第一小学校

授業改善推進プラン 音楽

《各学年の特徴》

- 1年 曲に合わせて元気に歌ったり、楽器を演奏したりして、楽しみながら活動できる。
- 2年 曲に合わせて元気に歌ったり、音楽に合わせて体を動かして表現したりして、楽しみながら活動できる。鑑賞して感じたことを単語や短い言葉で表現している。
- 3年 歌ったり、楽器を演奏したりすることについて、協働して活動できる。鑑賞して感じたことを言葉で表現している。得た知識を演奏に生かそうとしている。
- 4年 曲に合った表現を考え、旋律の重なりを楽しみながら、歌ったり演奏したりしている。
- 5年 曲に合った表現を友達と考え、お互いに聴き合いながら表現を工夫し、歌ったり演奏したりしている。
- 6年 曲に合った表現を友達と考え、知識や技能を生かし、学びを広げ深めながら、歌ったり演奏したりしている。

育てたい力（課題）

- 1年 音楽への興味・関心をもつとともに、表現をすることへの意欲を高め、音楽を楽しむ力
- 2年 歌や演奏を友達と合わせたり、聴き比べようとしたりする力。
- 3年 音楽を楽しみながら、曲や演奏のよさに気付くとともに、歌唱・器楽で表現するために必要な力
- 4年 音楽を楽しみながら、進んで関わり、音楽表現の仕方を考え、思いや意図をもって表現する力
- 5年 主体的に協働して音楽活動に取り組み、曲想や音楽の構造を理解し、思いや意図をもって表現する力
- 6年 主体的に協働して音楽活動に取り組み、音楽的な見方・考え方を働かせ、思いや意図をもって表現する力

☆授業改善の具体策☆

- ・担任、教科担任との連携⇒他教科とのクロスカリキュラム
- ・リコーダー講習会、日本の伝統音楽（箏・三味線）等の外部人材の活用
- ・日本の伝統音楽（箏・三味線）の実践 ・音楽集会の活用 ・学校行事との連携
- ・ICT 機器の活用・音楽室の環境整備

《知識及び技能》

《思考力・判断力・表現力等》

《学びに向かう力》

- 低学年 歌い方や鍵盤ハーモニカの奏法を、友達と音を合わせながら身に付けるために、体を動かし、リズム感や曲の感じに気付くことのできる活動を設定する。
- 中学年 音楽表現に必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるために、曲想と音楽の構造の関わりについて気付くことのできる活動を設定する。
- 高学年 音楽表現に必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるために、曲想と音楽の構造などの関わりについて理解できる題材を設定する。

- 低学年 曲や演奏の楽しさを見い出しながら、音楽を味わって聴くために、体を動かしたり歌ったりして表現できる時間を設定する。
- 中学年 曲や演奏のよさなどを見い出しながら、音楽を味わって聴くために、音楽表現を考える活動を通して、表現に対する思いや意図をもつことのできる題材を設定する。
- 高学年 曲や演奏のよさなどを見い出しながら、音楽を味わって聴くために、ICT 機器を活用する。また、音楽表現に対する思いや意図をもたせるために友達と交流させたり、題材を工夫したりする。

- 低学年 身の回りの様々な音楽に親しもうとする態度を養うために、友達と交流しながら、楽しく音楽に関わり合う活動を取り入れる。
- 中学年 児童が見通しをもち、意欲的に取り組めるように、活動の場の設定を工夫する。友達の表現のよさを感じられるように、交流の仕方や、活動の場の設定を工夫する。
- 高学年 音楽の授業での学びを積み上げることや友達との交流を通して、活動の場を工夫し、児童が主体的に取り組めるようにする。